



OSAKA JAPAN

..... 国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....

SUITA ESAKA ROTARY CLUB

CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日 / 1990.2.27
事務所 / 〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場 / 新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日 / 毎週火曜日 12:30~13:30
会長:水谷善博 幹事:延秀恵 会報委員長:内田正

2010年9月7日 第966回例会(第965号)

本日の例会

今週の歌 「君が代・奉仕の理想」

卓話 「タバコの害」

㈱ケーエスケー 推進役

薬剤師 今井邦近様

(大森会員紹介)

次回例会のお知らせ(9月14日)

卓話 「今、思うこと」

八橋志夫会員

前回〔8月31日〕例会記録

来客

青田佳子様(卓話者・石けん作家)

会長の時間 水谷会長

皆様こんにちは。8月も今日で終りと言うのに、連日35以上の猛暑日が続いています。一昨日の日曜日には、大阪の豊中市で全国最高の38.1を記録しました。地球温暖化のためか、本年は特に涼しい秋のおとずれが待たれます。

土曜日に地区のロータリー財団セミナーがありました。加藤財団担当委員、延幹事お疲れ様でした。11月のロータリー財団月間にはご協力よろしくお願い致します。外国から当地区に来るGSEチームを迎える京都デーを2回当クラブで行いましたが、今年度も何かの協力を行いたいと思いますので、皆様のご協力よろしく申し上げます。

出席報告 北村(康)委員

【8月31日】
在籍会員 42名(内出席規定適用免除者 10名)
出席会員 32名(内出席規定適用免除者 5名)
ホームクラブ出席率 86.49%

8月7日のMUを含む出席率 94.87%

私の好きな言葉として、セルバンテスの『ローマは一日にして成らず』があります。ローマは一日で偉大なる国家になったのではない。ローマ人の幾世代、幾世紀に及ぶ長い年月をかけた努力の積み重ねが築き上げたのである。我々の事業もまた然り、焦らず怠らず、毎日の努力こそ肝要である。

幹事報告 延幹事

クラブ広報委員長会議の案内
日時：9月25日(土)13:30~16:00
場所：薬業年金会館301号室
成松広報担当よろしく申し上げます。

ニコニコ箱

栢本会員 お久しぶりです。勝手に済みません。

成松会員 皆様のご協力を頂きホームページリニューアルできました。ありがとうございます。

田中(茂)会員 連続欠席のお詫び。

本日分 11,000円

累計 344,000円

関西大学RAC例会出席担当
9月28日Bグループ 西本会員、八橋会員

私達は他人(ひと)を思いやり 奉仕の理想のもと 地域社会へ貢献するよう 努めます

お知らせ

西上博幸 顧問ロータリアン

昨日、ロータリー財団国際親善奨学生依田悠介君から電話があり、「只今からアメリカに留学します。皆様に宜しくお伝え下さい。」との事でした。

卓 話

「手作り石けんについて」

metsapirtti 青田佳子様
(小笠原会員紹介)



石けんとの出会いは10年ほど前。乾燥肌で悩んでいた私は、さまざまなお化粧品を試しました。お金や時間をかけても一向に改善されず、私だけではなく客室乗務員の同僚の殆どが同じ悩みを抱えていました。インターネットで調べた結果、洗顔が一番大切だという事がわかりました。すぐ書店に向かい一冊の本“手づくり石けん”に出会いました。初めて作った石けんが泡だった時の感動は今でも鮮明に残っています。

初めて石けんを作ってから10年がたち、約50～60種類のオリジナル石けんを作ってきました。ネットショップでの販売やオーダーメイドでのギフト。さまざまなご注文を頂くようになりました。一人でも沢山の方に手作り石けんの良さと、手作りの楽しさを知ってもらう為、今後手作り石けん教室を小学校始め、自宅やカルチャーセンター、老人ホームなどで幅広く開催していきたいと思っております。

石けんは、自然の恵みと人の知恵から生まれた素敵な贈り物だと考えています。手作り石けんは排水溝に流れると、その殆どの成分が微生物による分解で、素早く地球に戻ると言われています。

お肌にも地球にも優しい手作り石けん。そんな石けんで、地球と大切にお付き合いできるように、手作り石けんをお選びいただくと幸いです。

新世代のための月間

国際ロータリー 第2660地区

ガバナー 松本 新太郎

9月は新世代のための月間です。今年4月に開催された3年に一度のRI規定審議会において、これまでの四大奉仕に加え第5番目の奉仕として「新世代」が追加されたことは、すでに多くの方が承知されていることでしょう。このことはつまり、RIにおいても新世代の重要性が、これまでになく高まっていることの表れであると言えます。

新世代の健全な育成を願ってロータリークラブが展開するプログラムには青少年交換、インターアクト、ローターアクト、RYLA、ニコニコキャンプなどがあります。ロータリアンとしてのみならず、新世代を守り育てることは、人間としての私たちの最大の責務と言っても過言ではないでしょう。自分たちの世代のことばかり考えて、次の世代を育てることを疎かにすれば、人類の未来はいったいどうなってしまうのでしょうか。それはあたかも、育児を放棄した親のようなものです。次世代のことを考えずして、明るい未来はあり得ないはずで。

そしてまた新世代の育成は、我々が担うべき重要な責任であると同時に、私たち自身のためにもなる取り組みであることをこの機会に改めて認識したいと思えます。先に紹介したプログラムのどれか一つだけでも参加したことのあるロータリアンには理解できるはずで。事業を経験した若者たちの充実感や達成感に勝るとも劣らない清々しいものを、ロータリアンである我々自身が得ていることを。そうです、新世代のために行うロータリーの活動は、新世代を育てることができる存在になれるよう、私たち自身が成長する場でもあるのです。

さあ、あなたももう一度考えてみませんか。新世代のためにあなたには一体何ができるのかを。そしてまた、新世代のために今、何ができているか、何をしなければならぬのかを。未来の世界を担う新世代のために。そして新世代を守り育てる使命を担うあなた自身のために。

(ガバナー月信9月号より)